

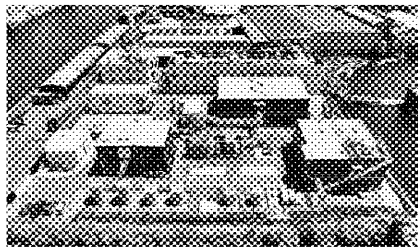
## 回転炉床炉開発で提携

### マイクロ波 化学と中外炉 製錬需要増に対応

マイクロ波化学は11日、中外炉工業とマイクロ波を用いた鉱石製錬用回転炉床炉の設計・製造に関する戦略的提携を締結したと発表しました。マイクロ波化学のマイクロ波技術に関する設計・制御などの経験と、中外炉工業の工業炉や回転炉床炉の

知見を組み合わせる。2025年度に、大阪事業所（大阪市住之江区）で特定顧客向けパイロット設備の稼働を目指す。顧客のフィードバックを受けて改良を加え、実機の開発も進める。

独自開発したテスト装置を完成している。回転炉床炉は円形に配置された炉床が移動して連続的に熱を加える炉で、省スペースや扱いやすさが特徴。マイクロ波を使った回転炉床炉は、化石燃料を用い、リチウムやニッケルなどの鉱石に



1000度Cほどの熱を加えるプロセスへの適用を検討している。ニッケル製錬の需要は30年に23年比で2〜3

▲パイロット設備を導入するマイクロ波化学の大阪事業所

倍に増えるため、精錬用の炉も需要増が見込めるという。

マイクロ波化学の塚原保徳CSO（最高科学責任者）は「回転炉床炉や炉はノウハウの塊。単独で何年もかけてするよりも、ノウハウがある炉メーカーとタイアップする方が良い」と提携の狙いを説明した。